



スイカ編

病害虫注意報 2023年6月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

うどんこ病、ハダニ類の発生にご注意ください！

うどんこ病

(写真はキュウリ)

ハダニ類



幼虫と若虫は農薬効果が高い！

症状

- ▶ 25℃前後の気温で発生しやすい。
- ▶ 葉表にうどんこを振りかけたような白色粉状のカビを生じる。

被害

20～30℃の気温で発生しやすい。
葉表にカスリ状の小斑点が発生。
高温乾燥条件にて多発生。

曇天・降雨が続くとつる枯病、炭疽病の発生も多くなりますので、ご注意ください！

おすすめ防除ローテーション

交配後2週間は農薬散布を避けましょう！

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミバチ
①	19	うどんこ病・つる枯病 予・治	ポリオキシシAL水溶剤	1,000～2,000倍	3日前	5回	3日
	25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル	3,000倍	前日	1回	1日
②	7,11	うどんこ病・炭疽病 つる枯病 等 予・治	シグナムWDG	1,500～2,000倍	前日	3回	0日
	30	ハダニ類・コナジラミ類 アザミヤカ類 等	グレーシア乳剤	2,000倍	前日	2回	1日
③	3	うどんこ病 予・治	トリフミン水和剤	3,000～5,000倍	前日	5回	1日
	33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル※	2,000倍	前日	2回	0日
④	U13,9	うどんこ病 予・治	ショウチノスケフロアブル	2,000倍	前日	2回	1日
	20B	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	前日	1回	0日

※銅剤近接散布、混用不可

RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミバチ
24,M01	果実汚斑細菌病 等	カッパーシン水和剤 ※汚れ注意	1,000倍	前日	5回	0日

出荷後の果実軟腐に注意！

果実汚斑細菌病【細菌】

症状：▶暗緑色水浸状の不整形斑
▶果肉の軟化腐敗
伝染：保菌種子による感染、前作発病圃場
土壌に8か月以上は残存する。

果実軟腐病【細菌】

症状：▶果肉の軟化腐敗
▶悪臭
伝染：不明
畑土に接触した果実面からの
感染ではないかといわれている



写真は果実軟腐病

対策

- 前作の発生残渣を適切に処分する
- 使用する資材の消毒
- 予防的な薬剤散布

弱った株の回復に！

カテキンパワー

1,000倍 葉面散布

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤（ファイトカルを除く）、微量要素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避ける。



肥料登録
生第91402号